

#3早蕨会

先日10月31日～11月1日仙台にて早蕨会定年後3回目の古希お祝いの会を実施いたしました。存命班員中11名が参集しました。



写真をご覧になってお気づきの方もおられると存じますが、後列左端は陸上2班電気工学出身の大越君であります。担当の真鍋君に変わり急遽案内をお願いし快く引き受けてくれました。

13時苦竹駐屯地に集合、隊友会支部職員高橋様の案内で総監部へ行き総監・両副長に挨拶した後、東北大震災について総監みずから派遣活動等について説明を受けました。





総監部展示室を拝観した後5台の乗用車に分乗して駐屯地から約20^キ南部の巨理町荒浜の津波被害の状況を見学いたしました、途中車窓からの景況は1階部分が何もない鉄筋コンクリートの建物、屋根しかないお寺等が数軒あるだけで電柱も倒れていて何もなく、道路のガードも拉げ、防砂林の太さ1m以上の松も倒れ、道路は復旧の為のダンプ等が走り回っていて、被災後に建ったものと言えば右の写真の荒浜慈聖観音慰霊塔とプレハブのコンビニだけの荒涼とした平地で全く復興の欠片もありませんでした。



荒浜を後にして本日の宿泊地である秋保温泉へ移動して、岩沼屋というホテルに投宿、古希祝いの宴会が実施されました。約3年間の近況を語り合いましたが、6年前の早蕨会発足以来参加したいと云っていた政二君が御両親の介護から解放され6年振りに参加されたのは特筆すべき事でした。



宴席での話題はもっぱら会員自身・家族の健康管理で、病名が出てくる都度、「俺もだ」、「どうやって治した」とかで盛り上がり、準備されていたカラオケ機材にも気が付かない状態でした。予定の2時間が瞬く間に過ぎましたが、これで「タルミの8班」の宴会が終わると班の名が廃ると全員の推挙で、かつて学生時代に座頭市の名演技で鳴らした佐伯君の出番で、最近趣味ではじめた能を披露して頂き散会となりました。



四十期一番の芸人「能」を舞う

翌日(11月1日)は紅葉が遅れてい
ますので予定の御釜は取りやめ秋保大
滝へ寄りました。右の写真のように紅
葉は遅れておりましたが、滝は絶景で
したし、土産物屋では生きているマム
シを入れたビンだとかイナゴの佃煮と
か都会の土産物屋との格差を感じま
した。



車のカーナビが道に迷いはしたも
のどうにか山寺の麓に到着。頸椎ヘ
ルニア3名、胆石1名、糖尿病2名、喉
頭癌が2名、くも膜下を傷めた人1名、
脚の付け根にボルトを入れてる人1
名、腎臓が一つなくアル中寸前が1名
等マトモな同期ゼロで何人が1000段
の階段を登って帰るか心配でしたが、
昨夜の大高(旧姓鯨岡)君が持参した
マムシ酒の回し飲みが効いたのか全
員がお参りして下山しました。早蕨会
全員元気です。この調子で喜寿・傘
寿・米寿と全員が集まりたいもの
です。



昼になりましたので最初の集合写真の伊藤屋の蔵改造の部屋で板蕎麦を昼食として
頂き、解散となりました。楽しい1両日でした。次回も沢山の班員が集まれますよう祈念
したいと思います。(多田記)